

京都大学 構造材料元素戦略研究拠点 第2回シンポジウム  
～ 放射光や中性子実験施設を利用した構造材料研究の新展開 ～

**日時**

平成24年11月7日(水) 13:00～17:00

**会場**

京都大学 東京オフィス (<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office>)

**参加費**

無料

**プログラム**

挨拶

13:00～13:10 田中 功 (拠点長)

講演

13:10～13:30 友田 陽 (茨城大学)

「J-PARC/MLFにおける中性子散乱回折を用いた構造材料研究」

13:30～13:50 新井正敏 (J-PARC)

「J-PARCからの構造材料元素戦略への貢献」

13:50～14:10 藤原明比古 (SPring-8)

「機能創出のためのSPring-8のマルチスケール材料評価」

14:10～14:30 村上洋一 (KEK・物質構造科学研究所)

「KEK・物質構造科学研究所における量子ビームを利用した構造材料研究  
—放射光・中性子・ミュオン・陽電子の協奏的利用を目指して—」

コーヒーブレイク(15分)

14:45～15:05 大沼正人 (NIMS)

「X線と中性子の複合利用によるナノサイズヘテロ構造の定量化」

15:05～15:25 乾 晴行 (京都大学)

「構造材料研究における放射光・中性子実験利用の可能性」

15:25～15:45 辻 伸泰 (京都大学)

「バルクナノメタルの特異な力学特性の解明に向けた放射光・中性子実験との  
連携の可能性」

コーヒーブレイク(15分)

16:00～17:00 パネルディスカッション (パネリスト 講演者7名)